

十名直喜 教授 略歴

学歴

1948年5月	兵庫県加西市 生まれ
1967年3月	兵庫県立小野高校 卒業
1967年4月	京都大学経済学部 入学
1971年3月	同上 卒業
1987年4月	京都大学経済学研究科修士課程 入学
1989年3月	同上 修了
1989年4月	京都大学大学院経済学研究科博士課程 入学
1992年3月	同上 満期退学
1994年5月	京都大学博士（経済学）

職歴

1971年4月	神戸製鋼所 入社
1992年1月	同上 退社
1992年4月	名古屋学院大学経済学部 助教授
1997年4月	名古屋学院大学経済学部および大学院経済経営研究科 教授
1999年9月	英国シェフィールド大学客員研究員（～2000年8月）
2004年4月	総合研究所長（～2008年3月）
2012年4月	キャリアセンター長（～2015年3月）
2015年4月	名古屋学院大学現代社会学部および大学院経済経営研究科 教授
2019年3月	名古屋学院大学 定年退職
2019年4月	名古屋学院大学名誉教授，特任教授
2019年5月	一般財団法人 アジアユーラシア総合研究所 顧問
2019年10月	SBI大学院大学経営管理研究科 客員教授

学会及び社会における活動等

所属学会

産業学会，基礎経済科学研究所（元理事），日本経済政策学会（元理事），日本経営学会，
労務理論学会，経済社会学会，国際文化政策研究教育学会（理事），
地域公共政策学会（元理事），経済学教育学会（元理事），総合人間学会
産業システム研究会（代表），働学研（博論・本づくり）研究会（代表）

受賞歴

1984年10月	基礎経済科学研究所創立15周年懸賞論文 佳作
1985年5月	NEC創立90周年記念論文 入賞
1990年5月	第4回ジェック「ま・な・び・す・と大賞」 受賞
2018年9月	名古屋学院大学「第1回優秀研究活動賞」 受賞

主要研究業績

単著書

- 1 『日本型フレキシビリティの構造—企業社会と高密度労働システム』単著 法律文化社 1993年4月 総頁214頁
- 2 『日本型鉄鋼システム—危機のメカニズムと変革の視座』単著 同文館出版 1996年4月 総頁276頁
- 3 『鉄鋼生産システム—資源・技術・技能の日本型諸相』単著 同文館出版 1996年9月 総頁312頁
- 4 『現代産業に生きる技—「型」と創造のダイナミズム』単著 勁草書房 2008年4月 総頁394頁
- 5 『ひと・まち・ものづくりの経済学—現代産業論の新地平』単著 法律文化社 2012年7月 総頁338頁
- 6 『現代産業論—ものづくりを活かす企業・社会・地域』単著 水曜社 2017年11月 総頁207頁
- 7 『現代産業論—ものづくりを活かす企業・社会・地域』（中国語版）単著 中国経済出版社、程永帥 訳 2018年3月 総頁208頁
- 8 『企業不祥事と日本的経営—品質と働き方のダイナミズム』単著 晃洋書房 2019年2月 総頁240頁

（共・編）著書

- 1 『日本の鉄鋼業』共著 有斐閣 置塩信雄，石田和夫，土名直喜，他12名 1981年4月 217-249
- 2 『講座 現代経済学V』共著 青木書店 二宮厚美，十名直喜 他8名 1981年4月 231-272
- 3 『原燃料からみたわが国製鉄技術の歴史』共著 日本鉄鋼協会 館充，黒岩俊郎，十名直喜，他9名 1984年10月 102-187
- 4 『論文集 新しい時代の人間と科学技術—その共生を希う25の提言』共著 日本電気株式会社 日口透，十名直喜，他13名 1988年6月 131-140
- 5 『激動期の日本労務管理』共著 高速印刷出版事業部 木元進一郎，十名直喜，他16名 1991年10月 160-190
- 6 『日本型企业社会の構造』共著 労働旬報社 渡辺治，伊藤誠，十名直喜，他6名 1992年10月 141-180
- 7 『日本経済の国際化とアジア』共著 青木書店 角田収，十名直喜，他6名 1993年8月 133-169

- 8 『経済・社会理論の再構築—経済社会学会年報XV』共著 現代書館 富永健一, 十名直喜 他30名
1993年9月 118-130
- 9 『現代日本の企業と社会—人権ルールの確立をめざして』共著 法律文化社 十名直喜, 森岡孝二,
他8名 1994年1月 3-21
- 10 『日本の社会経済システム—21世紀に向けての展望』共著 勤草書房『日本経済政策学会年報』第
42号 植草益, 十名直喜 他37名 1994年3月 41-45
- 11 『戦後世界システムの転換』共著 青木書店『経済理論学会年報』第31集 佐々木隆雄, 十名直喜
他51名 1994年10月 117-132
- 12 『地球社会の政治経済学』共著 ナカニシヤ出版 森岡孝二, 十名直喜, 他12名 1998年4月 94-
107
- 13 『日本企業の生産システム』共著 中央経済社 坂本清, 十名直喜, 他5名 1998年12月 209-249
- 14 『日本の経済システム』共著 青木書店 池上惇, 森岡孝二, 十名直喜, 他9名 1999年12月 103-
120
- 15 『日本の産業システム (2) 素材産業の新展開』共著 NTT出版 植草益, 十名直喜, 他13名 2004
年6月 191-233
- 16 『日本企業の生産システム革新』共著 ミネルヴァ書房 坂本清, 十名直喜, 他8名 2005年1月
167-193
- 17 『時代はまるで資本論』編著 昭和堂 基礎経済科学研究所編 2008年12月 はしがき, 238-272
- 18 『経営労務事典』共著 晃洋書房 労務理論学会 編 2011年6月 16-17
- 19 『総合人間学6』進化論と平和の人間学的考察 共著 学文社 総合人間学会編 2012年5月 143-
154
- 20 『“労働・学習・研究”融合化的思想と人的発展』共著 中日“人的発展経済学”第5次国際学術研
討会論文選『人的発展経済学—新展開』中国经济出版社 2012年12月 79-89
- 21 『地域創生の産業システム—もの・ひと・まちづくりの技と文化』編著 水曜社 十名直喜編 2015
年3月 はしがき, 序章, あとがき
- 22 『生涯読書のすすめ (増補改訂版)』共著 一般財団法人 アジア・ユーラシア総合研究所 川西重
忠編 2018年2月 33-36

論文

- 1 「大工業理論への一考察—芝田進午氏の所説に触れつつ (上)」単著『経済科学通信』第7号 基礎経
済科学研究所 1973年11月 14-27
- 2 「大工業理論への一考察—柴田進午氏の所説に触れつつ (下)」単著『経済科学通信』第8・9号 基
礎経済科学研究所 1974年4月 27-40
- 3 「資源危機における日本鉄鋼業の原料炭問題と今後の動向 (上)」単著『経済科学通信』第11号
1975年2月
- 4 「資源危機における日本鉄鋼業の原料炭問題と今後の動向 (中)」単著『経済科学通信』第12号

1975年6月 14-36

- 5 「資源危機における日本鉄鋼業の原料炭問題と今後の動向（下）」単著『経済科学通信』第14号
1976年1月 15-36
- 6 「資源論の課題と方法」単著『現代技術評論』第8号 現代技術評論社 1976年8月
- 7 「大工業理論の理解をめぐる一鈴木氏の拙稿批判に答える」単著『経済科学通信』第20号 1977
年10月 63-67
- 8 「技術・産業論の現代的課題と理論的諸問題」単著『経済科学通信』第21号 1978年2月 21-35
- 9 「エコロジー経済学の大工業論および資源論批判」単著『経済科学通信』第26号 1979年11月 12
月24日
- 10 「戦後日本鉄鋼業の原燃料事情と原料政策」単著『鉄と鋼』第67年1号 日本鉄鋼協会 1981年1月
- 11 「技術の経済学」の現代的課題（書評） 単著『経済科学通信』第30号 1981年1月 75-77
- 12 「日本鉄鋼業の資源・エネルギー戦略（上）」単著『経済科学通信』第32号 1981年9月 41-54
- 13 「日本鉄鋼業の資源・エネルギー戦略（下）」単著『経済科学通信』第34号 1982年3月 59-70
- 14 「日本資本主義の合理化再編成と大企業労働者の主体形成」単著『経済科学通信』第42号 1984年6
月 23-32
- 15 「現代日本の鉄鋼労働者像（15周年記念懸賞論文）」単著『経済科学通信』第44号 1984年12月
63-80
- 16 「日本鉄鋼業における「合理化」・多角化の動向」単著『経済科学通信』第55号 1988年3月 46-
55
- 17 「第2次大戦後における日本鉄鋼業の技術開発体制」単著『産業学会研究年報』第4号 1989年3月
- 18 「日本型高密度労働システムへの一視角」単著『経済科学通信』第62号 1990年3月 54-60
- 19 「日本型企业社会の構造とその変革視点」単著『経済科学通信』第65号 1990年12月 26-35
- 20 「日本型システムと『フレキシビリティ』」単著『経済科学通信』第67号 1991年7月 51-56
- 21 「日本型企业社会と就職問題」単著『経済』新日本出版社 1992年6月 198-220
- 22 「米国鉄鋼業における発展・衰退・再生の構造と力学」単著『名学大論集 社会科学篇』29-1 1992
年7月 93-122
- 23 「日本型フレキシビリティとME革命」単著『名学大研究年報』5 1992年12月 35-63
- 24 「資源・エネルギー問題の日本型構造と地球資源観」単著『名古屋学院大学ディスカッション・ペー
パー』名古屋学院大学産業科学研究所 1992年12月
- 25 「鉄鋼業を支える関連労働力の衰退化問題」単著『名学大研究年報』6 1994年2月 63-93
- 26 「大学の講義・演習にみる現代学生像一元鉄鋼マンの大学教員体験（2年間）を通して」単著『名
学大論集 社会科学篇』31-1 1994年4月 69-88
- 27 「鉄鋼業における熟練・技能の特質と継承問題（上）」単著『名学大論集 社会科学篇』31-1 1994
年7月
- 28 「鉄鋼業における熟練・技能の特質と継承問題（下）」単著『名学大論集 社会科学篇』31-2 1994
年10月

- 29 「熟練・技能の現代的特質と継承問題」単著『労務理論学会研究年報』第4号 労務理論学会 1994年10月
- 30 「日本型鉄鋼システムと業界団体」単著『名学大研究年報』7 1994年12月
- 31 「D社の工場見学記録」単著 OCCIER Working Paper Series No.9502『工場見学記録第1集』大阪市立大学経済研究所生産システム研究会 1995年4月
- 32 「転換期の日本型鉄鋼システム」単著『名学大論集 社会科学篇』32-1 1995年7月
- 33 「日本型企业システムとその転換の現局面」単著『経済科学通信』第79号 1995年8月
- 34 「日本鉄鋼業の技術水準と技術開発基盤」単著『名学大論集 社会科学篇』32-2 1995年10月
- 35 「日本鉄鋼業の労使関係と鉄鋼労働者像」単著『名学大研究年報』8 1995年12月
- 36 「日本型鉄鋼システムの再編成」単著『比較経営協会研究年報』第1号 1995年12月
- 37 「日本型企业社会の構造と変革問題」単著 東海労働弁護団『東海労弁通信』No. 1.2.3.4.7.9号 1996年2月
- 38 「瀬戸ノベルティ産業の盛衰と課題」単著『地域研究会』第18号 名古屋学院人学産業科学 研究所 1996年4月
- 39 「(ノベルティ) 原型師の技能と哲学」単著『地域研究会』第18号 名古屋学院人学産業科学 研究所 1996年4月
- 40 「日本鉄鋼業の原料人手システムと原料事情の変遷」単著『名学大論集 社会科学篇』33-1 1996年7月
- 41 「リストラの背後に鉄鋼システムの再編」単著『労働運動』No.382 1997年1月
- 42 「日本鉄鋼業のパラダイム転換」単著『行財政研究』No.32 1997年5月
- 43 「瀬戸の地場企業にみる伝統と新地平—4企業モデルにみる陶磁器産業の求心力と遠心力—」単著『地場産業研究』第19号 1997年6月
- 44 「台湾陶磁器産業の現況と課題」単著『地場産業研究』第19号 1997年6月
- 45 「新しい瀬戸・芸術文化都市の創造—“モノづくり”の街から“文化づくり”の街へ」単著『瀬戸窯業技術センター 1997年度対策会議』1997年7月
- 46 「新しい瀬戸・芸術文化都市の創造—“モノづくり”の街から“文化づくり”の街へ」単著『日刊とうめい』9月9日から17日付 1997年9月
- 47 「瀬戸ノベルティのパイオニア 丸山陶器にみる今昔と文化的資産」単著『日本人形玩具学会年報』第8号(かたち・あそび) 1997年9月 45-53
- 48 「学ぶ、働く、そして夢の発見—「生き方」を問う経済学教育の地平」単著 経済学教育学会編『経済学教育』第17号 1998年4月 18-24
- 49 「深谷製作所の海外進出と経営—アジアに根付くセト・ノベルティ(瀬戸焼人形)」単著『地場産業研究』第20号 名学大総合研究所 1998年6月 16-32
- 50 「セト・ノベルティの絵付職人と絵付職場—丸山陶器(株)にみるノベルティ絵付の技能と労働の足跡」単著『地場産業研究』第20号 名学大総合研究所 1998年6月 43-59
- 51 「“ものづくり”の街から“文化づくり”の街へ—新しい瀬戸の創造に向けて」単著『地場産業研究』

第20号 名学大総合研究所 1998年6月 60-66

- 52 「地場産業と芸術文化都市の創造—瀬戸の産業・文化と街づくりの一体化アプローチ」単著『地場産業研究』第20号 名学大総合研究所 1998年6月 67-73
- 53 「『名工研』瀬戸分室の移転統合問題と瀬戸の街づくり—名古屋工業技術研究所の歴史的・技術的資産に光をあて、新しい瀬戸・芸術文化都市の創造に活かす」単著『NGU EXPO 2005 プロジェクト研究報告書1』1999年5月 25-38
- 54 「N製鉄・K製鉄所の情報システム」単著 産業構造研究会『技術革新と規制緩和による産業構造の変革』『名学大産業科学研究所D.P.』45 1999年6月 1月14日
- 55 「Japanese Corporate and Industrial system at a Historical turning point」単著『名学大論集 社会科学篇』37-1 2000年7月 65-87
- 56 「21世紀 瀬戸の産業・文化を考える」単著『NGU EXPO2005研究』3 2001年5月 64-72
- 57 「構造転換期のM重工業 長崎造船所」単著「国際競争下の加工組立産業」『Discussion Paper』52 2001年6月 1-16
- 58 「国際的再編下の日本型鉄鋼産業システム」単著『名学大論集 社会科学篇』38-1 2001年7月 17-39
- 59 「世協テクニクス」単著『OCUIR Working Paper Series.』2001年9月
- 60 「誌面批評 特集 ポスト企業社会を探る」単著『経済科学通信』97 2001年12月 78-80
- 61 「英国の産業遺産と地域開発 (1)~(9) —英国留学の小窓を通して」単著『日刊とうめい』とうめい新聞社 01/12/26 02/1/22.23.29.30 02/2/1.4.5.6. 2001年12月
- 62 「転機に立つ川口の鋳物と基盤的技術産業集積」単著『Discussion Paper』58 2002年7月 13-37
- 63 「川口に息吹く鋳物のハイテク化と熟練技能伝承—老舗鋳物メーカー（株）永瀬留十郎工場の挑戦」単著『Discussion Paper』58 2002年7月 49-58
- 64 「日本型企业社会と産業・企業システムの再編成」単著『経済科学通信』99号 2002年8月 14-20
- 65 「近代化産業遺産と文化的街づくり—愛知製陶所から生まれた「芸術化横丁」とポーセリン・ミュージアム」単著『名学大論集 社会科学篇』39-2 2002年10月 109-146
- 66 「『磁都』景德鎮の産業・生活事情—景德鎮・上海の視察訪問と比較考察をふまえて—」単著『名学大研究年報』15 2002年12月 25-82
- 67 「首都鋼鉄総公司」単著 Institute for Economic Research, Osaka City University 202 2003年1月 72-85
- 68 「働きつつ学ぶ人間発達アプローチと日本資本主義分析の課題」単著『経済科学通信』第101号 2003年4月 72-75
- 69 「愛知製陶所から生まれた芸術家横丁とポーセリンミュージアム」単著『日刊とうめい』30回にわたり連載 2003年3~5月
- 70 「理念と切り結ぶ地域のアイデンティティ・原風景の創造に向けて—EXPO2005開催効果に関するアンケート結果から何を学ぶか」単著『NGUEXPO2005研究』第5号 名古屋学院大学総合研究所 2003年5月 87-89

- 71 「変貌する『磁都』景德鎮の産業・生活事情—上海との比較考察をふまえて」単著『NGUEXPO2005 研究』第5号 名古屋学院大学総合研究所 2003年5月 97-125
- 72 「TOTOの生産システムと海外事業展開」単著『Discussion Paper』60 2003年6月 23-45
- 73 「瀬戸の巨匠・北川民次と近代化産業遺産—地域再生に向けた北川芸術の再評価と保存・活用の創意的試み」単著『名学大論集 社会科学篇』40-1 2003年7月 23-65
- 74 「住宅設備機器メーカーにみる生産システム革新と海外展開」単独 生産システム研究会 2003年8月
- 75 「瀬戸の巨匠・北川民次と近代化産業遺産」単著 日刊とうめい 連載 (No. 1-28) 2003年10-12月
- 76 「世界一の『鳥』ノベルティと自社ブランドづくりをめざした大東三進(株)(DAITO)の経営・技術・文化」単著『名学大論集 社会科学篇』40-4 2004年3月 35-79
- 77 「沖縄の産業構造と産業クラスター戦略」単著『名学大 Discussion paper』62 2004年7月 55-74
- 78 「名古屋圏の産業と経営文化—「名古屋の経営」とその近代ルーツへのアプローチ」単著『経済科学通信』106号 基礎経済科学研究所 2004年12月 37-46
- 79 「セラミック王国・森村グループと『名古屋の経営』—名古屋圏の産業・経営にみる森村イズムの今日的意義」単著『名学大論集 社会科学篇』41-3 2005年1月 61-84
- 80 「瀬戸ノベルティのパイオニア・丸山陶器(株)論—経営・技術の沿革とその評価を中心にして」単著『名学大論集 社会科学篇』41-4 2005年3月 57-90
- 81 「躍進を続ける韓国・浦項総合製鉄の沿革と経営戦略」単著『名学大 Discussion paper』64 2005年9月 4月16日
- 82 「ノベルティの原型・絵付の技術・技能と職場事情—「瀬戸ノベルティのパイオニア・丸山陶器(株)論」続編」単著『名学大研究年報』18 2005年12月 23-65
- 83 「三協・立山ホールディングスの統合戦略と生産システム」単著『名学大 Discussion paper』68 2006年7月 61-79
- 84 「金属と人間を磨く経営—金属表面処理製品メーカー(株)ケミカル山本の挑戦」単著『中国地域と経営の創造的挑戦—産業ネットワーク研究会 調査研究報告書(4)』—DP-73 2007年10月 19-27
- 85 「伝統技術の継承と革新—甲冑師・明珍家にみる技術と文化の創造的融合」単著『中国地域と経営の創造的挑戦—産業ネットワーク研究会 調査研究報告書(4)』—DP-73 2007年10月 51-59
- 86 「『型』の技術・文化と現代産業論の視点」単著 総合研究所44-2 2007年10月 19-52
- 87 「陶磁器産業・文化の再生に向けて—市民・業界・都市間を陶磁文化でつなぐ新たな型の交流・再生活動」単著『JAPPI』(日本陶磁器産業振興協会) 2009年3月 1月5日
- 88 「人間発達の経済学の新地平—『資本論』に学ぶ21世紀的視点」単著『経済科学通信』119号(基礎経済科学研究所) 2009年4月 114-125
- 89 「人類社会発展的経済学之新地平線—從21世紀的新角度探討『資本論』」単著“人的發展經濟學”中・日國際學術研討會『經濟、環境與人的發展 論文 集』南京師範大學中國經濟研究中心・南京師範大學商學院・日本基礎經濟學研究所・『經濟學動態』編集部 2009年4月 161-173

- 90 「中国産業革命と人間発達の経済学」単著『経済科学通信』No.120 2009年7月 80
- 91 「ブルーツーリズムによる地域づくり・人づくりのダイナミズムー辺境から交流拠点へ変身進む蒲江・北浦大漁海道（日豊海岸）」単著『名古屋学院大学総合研究所Discussion Paper』No.83『東九州のツーリズムと交通・情報インフラ』2009年10月 3月21日
- 92 「産業・地域の文化的創造とブルーツーリズムー辺境を文化交流拠点へ変える蒲江・北浦大漁海道（日豊海岸）に学ぶ」単著『名古屋学院大学 研究年報』22 2009年12月 25-40
- 93 「“働きつつ学び研究する”人生スタイルの創造ー3次元の体験と原型づくり」単著『“働きつつ学ぶ”現場研究のダイナミズムと秘訣ー名古屋圏に生きる社会人研究者像ー』基礎経済科学研究所／名古屋学院大学・産業システム研究会 2009年12月 4月9日
- 94 「伝統産業のハイテク化と熟練技能伝承ー日本の中小メーカーにみる『型』と創造のダイナミズム」単著『中小商工業研究』第102号 2010年1月 11月24日
- 95 「人間発達の経済学之新地平線ー従21世紀的新角度探討『資本論』」単著『魅力中国』2010.1下 2010年1月 124-125
- 96 「“働きつつ学び研究する”人生スタイルの創造ー「働・学・研」融合の3次元体験と原型づくりを通して」単著『経済科学通信』第122号 2010年4月 75-80
- 97 「瀬戸ノバルティー文化活かすーかけがえのない資源 陶都再生に結ぶ活動」単著『中日新聞文化欄』（2010年5月28日付）2010年5月 文化12
- 98 「『働・学・研』融合の経験知と新地平ー“働きつつ学ぶ現場研究”シンポジウムの総括と課題」単著『経済科学通信』第123号 2010年9月 85-89
- 99 「環境文化革命と人間発達」単著『人間発達の経済学 第3回日中会議 報告論文集』2010年12月 33-38
- 100 「工場・産業・主役の発展と環境文化革命」単著『人間発達の経済学 第3回日中会議』2010年12月 43-46
- 101 「有田焼の産業振興とまちづくり」単著 サステイナブル産業・地域研究会『西九州の産業振興にみる伝統と先端の創造的挑戦』名古屋学院大学総合研究所 Discussion PaperNo.86 2010年12月 3月27日
- 102 「瑞浪市の行政改革とまちづくりー第4次行政改革大綱（案）づくりを通して」単著『NGU都市政策研究』第3号 都市政策とまちづくり 2010年12月 9-46
- 103 「ものづくりと技術の経済学ー「型」と人間発達の視点」単著『名古屋学院大学 研究年報』第23号 2010年12月 1月29日
- 104 「伊万里・有田焼の産業振興とまちづくりー産業と地域、伝統と創造のダイナミズム」単著『名古屋学院大学論集 社会科学篇』第47巻 第3号 2011年1月 1月25日
- 105 「“働・学・研”融合の思想と人間発達（「働・学・研」融合化的思想与人的発展）」単著『人間発達の経済学国際学術検討会（Intenational Seminar of Human Development Economics）』2011年4月 148-154
- 106 「環境文化革命と人間発達ー「型」とものづくりの視点」単著『経済科学通信』No.126 2011年9

月 112-113

- 107 「地方行政改革とまちづくり—第4次瑞浪市行政改革大綱（案）づくりを通して」単著『名古屋学院大学論集 社会科学篇』第48巻 第2号 2011年10月 35-65
- 108 「東国製鋼の経営と発展戦略—ものづくり経営にみる日韓比較の視点をふまえて」単著『韓国経済のダイナミズムと課題—日韓比較の視点—』Discussion Paper No.88 サステナブル産業・地域研究会 2011年12月 27-49
- 109 「韓国企業のものづくりと経営戦略—東国製鋼モデルにみる経営革新と日韓比較の視点」単著『名古屋学院大学 研究年報』第24号 2011年12月 1月23日
- 110 「瑞浪市の産業振興とまちづくり—やきものと地域、和と洋の創造的融合に向けて」単著『名古屋学院大学論集 社会科学篇』第48巻 第3号 2012年1月 11-33
- 111 「ものづくりと人間発達の経済学—『ひと・まち・ものづくりの経済学』刊行の趣旨とねらい」単著『第5回人間発達経済学日中会議（北海道集会）』2012年9月 116-124
- 112 「人的発展之経営学—“技”，“才”，“徳”兼備型企業領導者之育成」共著 人的発展経済学”第7次国際学術研討会論文選・世界経済発展学会2013年年会暨『論文集』程永帥／十名直喜 2013年-月 99-105
- 113 「ものづくりの再生は名古屋から—21世紀型モデルの創造に向けて」単著『週刊東洋経済』5月臨時増刊号 2013年5月 48-51
- 114 「人間発達の経営学—「技」「才」「徳」を兼ね備えた経営リーダーづくり」共著『名古屋学院大学論集 社会科学篇』第50巻 第1号 十名直喜 程 永帥 2013年7月 21-29
- 115 「ひたち・つくばモデルと名古屋圏モデル—21世紀型産業・地域モデルの創造に向けて」単著『筑波経済月報』創刊号 2013年8月 4月5日
- 116 「グローバル経営下のものでづくりと中小企業支援ネットワーク」単著『名古屋学院大学研究年報』第26号 2013年12月 13-63
- 117 「キャリア教育・就活支援システム の到達点と課題—「名学大モデル」の創造と実践」単著『名古屋学院大学論集 社会科学篇』第51巻 第1号 2014年7月 15-34
- 118 「東大阪のものでづくりと中小企業支援ネットワーク」単著『名古屋学院大学総合研究所ディスカッションペーパー』104『離島と大都市にみる産業・地域振興の現状と課題—答志島（鳥羽市）と東大阪の比較研究とダイナミズム—』産業・地域システム研究会編 2014年12月 65-99
- 119 「地域密着型ものでづくりと中小企業支援ネットワーク—東大阪にみるひと・まち・ものでづくりの創意的試み」単著『名古屋学院大学論集 社会科学篇』第51巻 第3号 2015年1月 45-78
- 120 「『ひと・まち・ものでづくりの経済学』に対する村上研一氏の書評へのリプライ」単著『季刊 経済理論』第51巻第4号 経済理論学会編 2015年1月 114-117
- 121 「グローバル経営下のものでづくりとシステム・イノベーション—『ひと・まち・ものでづくりの経済学』を超えて」単著 日本経営学会編『経営学論集 第85集』千倉書房（WEB）2015年4月（01）1-11
- 122 「ひたち（茨城）地域創生の産業システム」単著『JOYO ARC』No.550, 常陽地域研究センター 2015年8月 4月13日

- 123 「持続可能な循環型産業システムへの視座」単著『経済科学通信』No.138, 基礎経済科学研究所
2015年9月 58-61
- 124 「海の覇者・九鬼嘉隆とブルーツーリズム—志摩・鳥羽地域を照らす歴史的遺産への視座」単著『名古屋学院大学 Discussion Paper』No.111『離島対策に学ぶ地域再生への歴史的視座』（産業・地域システム研究会）2015年12月 31~39
- 125 「『働・学・研』融合型の持続可能な産業・地域づくり」単著『名古屋学院大学論集 社会科学篇』第52巻 第3号 2016年1月 15-44
- 126 「『働・学・研』融合の理念と実践—コンセプトと論点の提起—」単著『基礎経済科学研究所春季研究交流集会報告要旨集』2016年3月 38-44
- 127 「持続可能な循環型産業・地域づくり—コンセプトと論点の提起—」単著『基礎経済科学研究所春季研究交流集会報告要旨集』2016年3月 109-117
- 128 「『働きつつ学ぶ』理念と活動の21世紀の視座—特集によせて」単著『経済科学通信』第141号 基礎経済科学研究所 2016年9月
- 129 「持続可能な循環型産業・地域づくりへの歴史的視座」単著『経済科学通信』第141号 基礎経済科学研究所 2016年9月
- 130 「21世紀型もの・ひと・地域づくりの新構築」単著『社会システム研究』第33号 立命館大学社会システム研究所 2016年9月
- 131 「周防大島の風土・産業・文化と地域再生」単著 産業・地域システム研究会『地域の風土・産業・文化を生かした離島・本島活性化の課題—周防大島と沖縄本島の見学調査をふまえて』『名古屋学院大学総合研究所 Discussion Paper』No.119 2016年12月 4~33
- 132 「ものづくり経済学の理論と政策—持続可能な循環型産業システムの創造に向けて—」単著『名古屋学院大学論集 社会科学篇』第53巻 第3号 2017年1月 17-90
- 133 「日本的な働き方と変革への視座—働くことの意味とあり方を問い直す」単著『名古屋学院大学総合研究所 Discussion Paper』No.122 2017年9月 1-33
- 134 「ものづくり経済学の深化・発展への道—学会・研究会での発表と議論等をふまえて」単著『名古屋学院大学論集 社会科学篇』第54巻 第3号 2018年1月 11-36
- 135 「小さな離島の大きな挑戦—長崎県小値賀島の産業・地域づくり」単著『名古屋学院大学総合研究所 Discussion Paper』No.124 産業・地域システム研究会『長崎県小値賀島の魅力的〈ひと・まちづくり〉—産業・地域研究20年への歴史的視座』2018年1月 6月14日
- 136 「産業・地域システム研究20年の到達点と課題」単著『名古屋学院大学総合研究所 Discussion Paper』No.124 産業・地域システム研究会『長崎県小値賀島の魅力的〈ひと・まちづくり〉—産業・地域研究20年への歴史的視座』2018年1月 43-55
- 137 「日本の経営と品質管理—働き方改革への視座—」単著『名古屋学院大学論集 社会科学篇』第55巻 第1号 2018年7月 1-92
- 138 「日本的な働き方と変革への視座—働くことの意味とあり方を問い直す」単著『経済社会学会誌』2018年10月 12-20

- 139 「日本的な働き方と品質不祥事—システム改革に向けて」単著『労務理論学会誌』第28号 晃洋書房 2019年3月 69-82

書評

- 1 いいだもも／山田鋭夫編『「アフター・フォーデズムと日本」』単著「経済・社会理論の再構築—経済社会学会年報XV—」経済社会学会／現代書館 1993年9月
- 2 M.J. ビオリ／C.F. セーブル著『「第二の産業分水嶺」』単著『経済科学通信』第76号 1994年5月
- 3 藤井治枝／渡辺峻編『日本企業の働く女性たち』単著『産業学会, 研究年報』14 1999年6月
- 4 井上義裕『生産経営管理と情報システム—日本鉄鋼業における展開』(同文館)』単著 基礎経済科学研究所『経済科学通信』第90号 1999年7月 78-80
- 5 鈴木茂『産業文化都市の創造—地方工業都市の内発型発展』(大明堂)』単著 基礎経済科学研究所『経済科学通信』第91号 1999年12月 82-83
- 6 石田和夫・安井恒則・加藤正治編『企業労働の日英比較』大月書店, 1998年 単著『経済科学通信』第93号 2000年8月 80-82
- 7 伊原亮司『トヨタの労働現場』単著『経済科学通信』基礎経済科学研究所103号 2003年12月 77-78
- 8 鈴木茂『ハイブリッド型ベンチャー企業—制度的厚みと地域の固有性—』単著 財政と公共政策財政学研究会 26-1 2004年2月 139-141
- 9 松浦章著『日本の損害保険産業』単著『経済』No.236 新日本出版社 2015年5月 130-131
- 10 山崎茂雄編 [2016]『町屋・古民家再生の経済学』水曜社 単著 地域公共政策学会『地域公共政策研究』第26号 2018年2月 107-109

口頭発表

- 1 「変革を迫られる日本型企业社会」単独 経済社会学会 東西合同研究会 1992年6月
- 2 「日本型企业社会を超えて」単独 基礎経済科学研究所第15回大会 関西大学 1992年9月
- 3 「日本の企業社会とフレキシビリティ」単独 第28回経済社会学会全国大会 麗沢大学 1992年9月
- 4 「熟練・技能の現代的特質と継承問題」単独 労務理論学会第4回全国大会 1994年5月
- 5 「日本型鉄鋼システムの再編成」単独 社会主義経営学会第20回大会 1995年3月
- 6 「日本型企业システムとその転換の現局面」単独 95年春季研究交流研究所 1995年3月
- 7 「日本型鉄鋼システムの再編成—日本鉄鋼業をモデルにして」単独 産業学会全国研究会第32回大会 1995年6月
- 8 「日本鉄鋼業の技術水準と技術開発システム」単独 基礎経済科学研究所第18回夏季研究大会 1995年7月
- 9 「日本型鉄鋼生産システム論」単独 生産システム研究会 大阪市立大学 1995年10月
- 10 「日本型鉄鋼生産システム」単独 現代産業論研究会 京都大学 1995年11月

- 11 「日本の労使関係システムとサラリーマン像—鉄鋼業をモデルにして（戦後50年の総括視点から）」
単独 基礎経済科学研究所 春季研究交流集会 1996年3月
- 12 「日本型産業・経営システムと鉄鋼業」単独 第19回経営史学会・中部経営ワークショップ 1997
年6月
- 13 「新しい瀬戸と地場産業の創造—文化の風薫る街づくりと産業づくり」単独 瀬戸陶磁器工業協同組
合 総会 1997年10月
- 14 「学ぶ、働く、そして夢の発見—“教え”から“学び”への」単独 経済学教育学会第13回大会
1997年11月
- 15 「日本の生産システムと産業社会—鉄鋼産業論の視座」単独 生産システム研究会 1998年3月
- 16 「鉄鋼産業の国際的再編成」単独 鉄鋼産業問題関西交流集会 1999年7月
- 17 「Japanese Corporate and Industrial system at a Historical turning point」単独 The SEAS Seminar at
University of Sheffield, School of East Asian Studies 2000年3月
- 18 「ゆとり創造の経営」単独 ゆとり創造トップセミナー 2001年7月
- 19 「『日本型』企業社会と産業・企業システムの再編成」単独 基礎経済科学研究所 春季研究交流集
会 2002年3月
- 20 「産業大再編時代の日本型鉄鋼システム」単独 第2回鉄鋼産業問題 関西地域交流集会 2002年10
月
- 21 「陶磁器産業の文化と地域の再生—瀬戸の巨匠・北川民次と近代化産業遺産」単独 基礎経済科学研
究所 第26回研究大会 大阪経済大学 2003年9月
- 22 「中部圏の産業と文化—窯業の技術と文化の地域ネットワーク」単独 基礎経済科学研究所 名城大
学 2004年9月
- 23 「瀬戸ノバリティの技術と産業文化—東西磁器交流のダイナミズム」単独 国際文化政策研究教育学
会 京都大学 2006年8月
- 24 「『型』の技術・文化と人間発達」単独 基礎科学研究所研究大会 2008年9月
- 25 「伝統と創造のダイナミズム—『型』の技術・文化と現代産業」単独 日本経済政策学会中部地方大
会 2008年11月
- 26 「人間発達の経済学としての『資本論』」単独 基礎経済科学研究所 40周年記念大会（関西大学）
2008年12月
- 27 「現代技術と人間発達の経済学」単独 基礎経済科学研究所 2009年春季研究交流集会 2009年3月
- 28 「人類社会発展的経済学之新地平線—從21世紀的新角度探討『資本論』」単独 “人的發展経済学”中・
日国際學術研討会（『経済、環境与人的發展 論文 集』）南京師範大学中国经济研究中心・南京
師範大学商学院・日本基礎経済学研究所・『経済学動態』編集部 2009年4月
- 29 「中国産業革命と人間発達の経済学」単独 河南財經学院大学大学院 2009年4月
- 30 「『資本論』に学ぶ21世紀的視点—貧困化の経済学から人間発達の経済学へ—」単独 愛知労働問題
研究所 第12回総会 2009年10月
- 31 「陶磁器文化とまちづくり—美しい自然・歴史情緒・ふれ愛豊かな環境文化都市みずなみの創造—

単独 瑞浪市役所 2010年6月

- 32 「技術と人間発達」単独 総合人間学会 2010年6月
- 33 「「型」の技術・文化と人間発達」単独 基礎経済科学研究所研究大会 2010年9月
- 34 「ものづくりと技術への新たなアプローチ『ひと・まち・ものづくりの経済学』」単独 ものづくり・技術教育の研究・交流会（第31回・名古屋大学） 2013年6月
- 35 「グローバル経営下のものづくりと中小企業支援ネットワーク『ひと・まち・ものづくりの経済学』をふまえて」単独 日本経営学会第268回中部部会 2014年3月
- 36 「グローバル経営下のものづくりとシステムイノベーション『ひと・まち・ものづくりの経済学』を超えて」単独 日本経営学会第88回大会 2014年9月
- 37 「もの・ひと・まちづくりの現代産業論」単独 国際文化政策研究教育学会「文化セミナー」2014年9月
- 38 「キャリア教育と人間発達の経済学」単独 基礎経済科学研究所第37回秋季研究大会 2014年9月
- 39 「Modern Industrial Economics for Human Development : Toward the Creation of an Industrial System for the 21st Century」単独「第7回 人間発達の経済学日中会議」日本学術会議・基礎経済科学研究所・慶応大学東アジア研究所 2014年12月
- 40 「21世紀型産業システムへの視座—持続可能な循環型発展モデルの創造に向けて」単独 基礎経済科学研究所春季研究交流集会 2015年3月
- 41 「21世紀の経済学への視座」単独 基礎経済科学研究所春季研究交流集会 2015年3月
- 42 「21世紀型産業システムへの視座」単独 経済理論学会東海部会研究会 2015年5月
- 43 「持続可能な産業システム」単独 ものづくり・技術教育研究会（名古屋大学）2015年7月
- 44 「「働・学・研」融合型の持続可能な産業・地域づくり」単独 現代資本主義研究会 2015年10月
- 45 「21世紀型のもの・ひと・地域づくりの新構築をめざして」単独 立命館大学社会システム研究所 2015年度公開学術シンポジウム 2016年2月
- 46 「「働・学・研」融合型の理念と実践—コンセプトと論点の提起—」単独 基礎経済科学研究所2016年春季研究交流集会 2016年3月
- 47 「持続可能な循環型産業・地域づくり—コンセプトと論点の提起—」単独 基礎経済科学研究所2016年春季研究交流集会 2016年3月
- 48 「ものづくり経済学の理論と政策」単独 日本経済政策学会中部部会 2016年11月
- 49 「ものづくり経済学の理論と政策—持続可能な循環型システムの創造に向けて」単独 経済理論学会東海部会 2017年2月
- 50 「21世紀型ものづくりの理論と政策」単独 日本経営学会中部部会での発表 2017年3月
- 51 「日本的な働き方と変革への視座」単独 基礎経済科学研究所研究大会 2017年8月
- 52 「現代産業論—ものづくりを活かす企業・社会・地域」単独 文化セミナー（国際文化政策研究教育学会） 2017年9月
- 53 「日本的な働き方と変革への視座—働くことの意味とあり方を問い直す」単独 経済社会学会全国大会 2017年9月

- 54 「現代産業論—ものづくりを活かす企業・社会・地域」単独 経済社会学会西部部会 摂南大学
2017年12月
- 55 「現代産業論—ものづくり経済学の深化・発展への道」単独 ものづくり・技術教育研究・交流会（第
52回）名古屋大学 2018年2月
- 56 「現代産業論—ものづくり経済学の深化・発展への道」単独 経済理論学会東海部会 愛知東邦大学
2018年2月
- 57 「日本の経営と品質管理—日本的な働き方とシステム変革への視座」単独 日本経営学会中部部会
名古屋大学 2018年3月
- 58 「日本的な働き方とシステム変革への視座—日本の経営と品質管理」単独 労務理論学会全国大会
同志社大学 2018年6月
- 59 「日本の経営と品質管理—働き方改革への視座」単独 総合人間学会西部部会 京都市左京区総合庁
舎 2018年7月
- 60 「日本の経営と品質管理」単独 アメリカ経済研究会 神戸市UNITY 2018年8月
- 61 「企業不祥事と日本の経営—品質管理と働き方改革への視座」単独 基礎経済科学研究所全国大会
京都府立大学 2018年8月
- 62 「企業不祥事と日本の経営—働き方を変えれば品質は上がる」単独 国際文化政策研究教育学会文化
セミナー 成徳学舎 2018年9月
- 63 「「働学研」融合の仕事・研究・人生」単独 国際文化政策研究教育学会 文化セミナー 成徳学舎
2019年9月
- 64 「挑戦と思いやりが育んだ森岡企業社会論—到達点と課題」単独 基礎経済科学研究所 研究大会
大阪経済大学 2019年9月
- 65 「働学研」（博論・本づくり）研究会のご案内」単独 基礎経済科学研究所 研究大会 大阪経済大
学 2019年9月
- 66 「企業不祥事と日本の経営—品質と働き方のダイナミズム」単独 立命館大学経済学会セミナー 立
命館大学 2019年10月

その他

- 1 「働きつつ学び研究することの意義と展望」単著『経済科学通信』第7号 1973年11月 77-79
- 2 「〔インタビュー〕十名直喜さんに聞く—“働きつつ学ぶ”鉄鋼産業研究の歩みと抱負」共著『経済科
学通信』第63号 1990年6月
- 3 「〔巻頭言〕日本型システム変革の理念と課題」単著「おおさかの住民と自治（94・8号）」通巻188号
1994年7月
- 4 「NKKの高炉再稼働」単著『経済科学通信』第84号 1997年6月
- 5 「自著を語る—『日本型鉄鋼システム』・『鉄鋼生産システム』」単著 経済社会学会『ニューズレター』
No.22 1997年7月
- 6 「〔報告書〕『ニュービジネス研究会』」単著 瀬戸商工会議所、中小企業相談所 1998年3月 総頁60

頁

- 7 「Asian Business & Management (ABM) ジャーナルの発刊に寄せて」単著『経済科学通信』基礎経済科学研究所 97 2001年12月 8
- 8 「書評:池上惇『文化と固有価値の経済学』岩波書店 単独 池上先生の古希を祝う会 京大会館(京都市) 2003年9月
- 9 「“働きつつ学ぶ”現場研究のダイナミズムと秘訣—名古屋圏に生きる社会人研究者像」編著 基礎経済科学研究所/名古屋学院大学・産業システム研究会 全体の編集を行う 2009年12月
- 10 「働きつつ学ぶ—「働・学・研」融合スタイルの創造」単著『出版ニュース』2194巻(2009年12月上旬号), 出版ニュース社 2009年12月 17
- 11 「ひと・まち・ものづくりの経済学—産業と地域, 労働と人生の文化的創造」単独「出版記念公開シンポジウム」名古屋学院大学産業システム研究会・基礎経済科学研究所共催 2012年7月
- 12 「ひと・まち・ものづくりの経済学—日本型システムを変革へ」単著『中部経済新聞』2012年12月6日付 2012年12月